

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和6年 2月 29日

事業所名:こども発達支援リフト

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			十分な広さ(120㎡)に加え、活動内容や目的別で部屋を分けて支援しています。	現状で対応していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			法令に基づき、適切に配置している。(毎日、4~5人のスタッフを配置しています)	現状で対応していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			手すりやスロープの設置されています。	現状で対応していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日、朝一と昼食後にミーティングを行い、共通認識を持つようにしています。	人事考課制度の導入することで、より個々の目標設定や達成課題、状況の把握に繋がるためを検討しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	今年が初年度になります。	継続していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	今年が初年度になります。	継続していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は第三者による外部評価は受けていません。	必要に応じて検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・共通認識を基に支援にあたるために事業所内研修だけでなく、外部研修(オンライン中心)に参加しています。	継続していきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			客観的な視点、事業所の意向を伝えた上で、保護者のニーズと照らし合わせて計画書を作成しています。	関係機関との連携を密にすることで、より良い計画書作成に繋げていきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			応用行動分析などのツールを用いて評価・プログラム作成・支援を行っています。	継続していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			目的を共有した上で、プログラム立案を全体で行っています。	継続していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			定着を目的として同じ活動を繰り返し行うことはある。また、目的に応じて遊びの種類を毎回変えています。	継続していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇には、公共交通機関での外出などの屋外活動、クッキングなど、平日できないことにも取り組んでいます。	継続していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			課題に応じて個別と集団を織り交ぜて支援しています。	継続していきます。
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援の前には必ずミーティングを行い、目的、配慮事項、役割の共有を図っています。	継続していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援後には必ずミーティングを行い、振り返りと次回の支援内容の再検討等を行っています。	継続していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			リタリコのツールを用いて日々の記録に努めています。	継続していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回以上のモニタリングを行い、ご家族に対面で報告しています。	継続していきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				来年度からは5領域に則した計画立案・支援が求められるのでしっかりと対応していきたいと思えます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係 機関 や 保護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管が参加しています。	児発管だけでなく、他職員も参加する機会を設けることで、より良い会議に繋げたいと考えています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		学校との連携会議に参加しています。	学校送迎時に情報共有を図っていますが、機会が少ないため定期的に行えるような工夫も必要だと感じています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		対象者はいないが、体制は整えています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保護者や関係機関からの情報提供書のやり取りが中心で、園とのやり取りはできていません。	必要に応じて、実施を検討していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		該当なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		保護者からの情報提供はありますが、直接的な連携はありませんでした。	継続していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		屋外活動を中心に積極的に交流を図っています。	地域イベント等への積極的な参加をしていきたいと考えています。
	27	(地域自立支援)協会等へ積極的に参加しているか	○			管理者が積極的に参加している。	継続していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡帳アプリ、電話にて共有を図り、努めています。	継続していきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		行動心理に基づく対応方法等の支援は個別に行っています。	来年度も希望者に対して、ペアレントトレーニングを実施する予定です。	
保護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明しています。	改訂などがあつた際はは文章を配布していく予定。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期ではモニタリング報告時に聞き取りを行っている。悩み事や不安がある場合に、いつでも相談に応じることも伝えていきます。	継続していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		来年度は実施予定です。どのような形が喜ばれるか検討中です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談・苦情の窓口については、契約時に説明しています。児童からの要望については、ミーティングで取り上げ、その後対応を検討しています。	継続していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		連絡帳アプリを用いて個別に発信させてもらいました。	より細かい内容の連絡に努めていきます。
	35	個人情報に十分注意しているか	○				継続していきます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			口頭だけでなく、絵カードや文章、写真等も活用している。保護者に対しても、電話やアプリ、紙面などやり取りのしやすい媒体を活用し、伝達を行っています。	継続していきます。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		来年度は事業所の行事を企画して地域の方々に興味を持ってもらえる運営を心掛けたいと思います。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアル等、整備しています。	マニュアルの策定はされていますが、周知という点においては不十分だったと感じています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回実施していますが、全ての時間帯で行うわけではないため、参加できない児童もいました。	様々な時間帯で実施し、どの児童も一度は参加できるように調整していきたいと考えています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所研修を実施しています。	継続していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束を実施せざるを得ない状況にはないが、指針を作成して職員に共有しています。	継続していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・契約時に確認しています。 ・調理活動やおやつの際も配慮して提供しています。	継続していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事案発生時にはミーティング内で振り返りと改善点を話し合い、再発防止に努めています。	継続していきます。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)